

# 令和7年度第2回 ヤングケアラー関係機関職員研修会

ご存じですか？

ヤングケアラー

地域の居場所のこと

～ケアを担う子ども・若者や地域の子ども・若者が集う居場所について  
理解を深める機会にしませんか？～

1/26(月)  
13:30~16:00  
参加無料

講 義 (13:35~)

「ヤングケアラー支援の現在地とこれから  
－当事者の語りとイギリスの実践例から学ぶ－」

大阪公立大学現代システム科学研究所 教授 濱島 淑恵 氏

日本女子大学大学院人間社会研究科博士課程後期満期退学。金沢大学で博士（学術）を取得。家族介護者の支援に関する研究に取り組み、2016年に日本初となる高校生を対象としたヤングケアラーに関する質問調査を実施した。2019年からは「ふうせんの会」を有志とともに立ち上げ、ヤングケアラー支援にも取り組んでいる。2020年、2021年には国による実態調査の研究班に参加し、神戸市、大阪市、兵庫県等のヤングケアラー支援に関するアドバイザーを務める。主な著書に『子ども介護者－ヤングケアラーの現実と社会の壁－』（角川新書）等がある



©撮影：前川政明

講 演 (15:05~)

「小さな居場所で見えるヤングケアラーの課題」

一般社団法人Ponteとやま 理事 加藤 愛理子 氏

年齢を問わない「生きづらさを抱えている」人やその家族が安心して暮らしていくための地域作りをめざし、子どもや若者などが、自信を持って成長していくための体験の場を提供し、居場所と仲間、必要な学びのチャンスをともに作っている。

慶應義塾大学卒業後、盲学校教諭・専業主婦を経て、35歳の時に大阪教育大学特別専攻科言語障害児課程に入学、その後大阪YMCA講師、富山YMCA国語科講師



お申し込み：URLもしくは二次元コードから参加者ご本人がお申込みください  
[URL:https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/2R7qlqK7](https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/2R7qlqK7)



講義・講演のあとはクロストークがあります！

「子ども・若者の居場所から聞く、いまできること・若者への関わりについて」

居場所に来る子ども・若者の声をどう聴いて、どのように支援につなげていくかを考えます。

濱島先生からの全国的な取り組み好事例、加藤さんからの地域の居場所から必要な支援につないだ事例、県から支援方策についてなどをトークします。

日 程 2026年1月26日（月）13:30~16:00（受付13:00~）

会 場 富山県防災危機管理センター3階研修室（富山市新総曲輪1-7）

料 金 参加無料 定 員 70名（定員に達した場合は先着順とします）